

中学部1年 「デジタルポップを作ろう」 (作業学習)

取組の理由	城東ワークス（全校行事）での作業製品販売において、陶芸班が販売する製品（お皿・カップ）の製作工程を、お客様に紹介する手段として商品ポップをデジタルで作ってみてはどうかと考えた。
使用端末 ツール、アプリ	Clips（GIGAスクール端末アプリ） カメラ（GIGAスクール端末アプリ） 教員用iPad プロジェクター
取組内容	<p>GIGAスクール端末アプリ「Clips」の使い方について、外部専門員とともに授業を行い、生徒が制作した。</p> <p>【手順】</p> <ol style="list-style-type: none">①アプリの立ち上げ②お皿作りの工程の写真を選択③スタンプの選択、挿入④説明・コメントの入力⑤音楽をつける⑥保存の仕方

中学部1年「デジタルポップを作ろう」(作業学習)

授業後の児童・
生徒の様子や
変化

様子

- ・動くスタンプに興味をもち、いろいろ挿入して試していた。
- ・友達と制作したものをお互いに見合いながら、良いものや面白いものを自分のものに取り入れていた。

変化

- ・いろいろ試しているうちにやり方を覚えて、自分なりの工夫ができるようになっていった。
- ・コメントの内容、スタンプの配置や大きさなど、どうしたら見る相手に伝わりやすいかを考えられるようになった。

ICT機器を使って
みて

- ◎やり方が分かれば生徒が自分で操作して扱うことができた。
- ◎動くスタンプが、生徒の興味を引いていた。楽しみながら制作できた。
- ◎生徒それぞれの発想や個性を表現することができた。

◎：よかったところ

△：課題、問題点等

- △素材に使いたい写真や動画は、GIGAスクール端末上に移動させる、あるいはGIGAスクール端末で撮影する必要がある。
- △スタンプが豊富で面白さがある反面、制作するもののテーマに合ったものを生徒が選択することにはやや難しさがある。